

# 水辺のごみ見つけ！2023（全国水辺のごみ調査）の結果

= 概要版 =

水辺にはたくさんのごみが散乱しています。海洋プラスチック汚染の対策のためにも、水辺に散乱するごみの状況を全国規模で把握することは大切であり、本調査は8年目となりました。2023年は、学生さんたちの参加も増え、感染症対策が落ち着いてきたことにより調査件数が増加しました。

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、何でゴミがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。

（調査期間：2023年4～11月）

## ◆調査結果



○ 飲料ペットボトル：**35,599** 本

○ レジ袋：**8,953** 枚

○ カップ型飲料容器：**3,808** 個

[参考]2022年調査件数は、件数726件、飲料ペットボトル28,842本、レジ袋5,312枚、カップ型飲料容器4,830個

## ◆2020年以降、調査件数増加

2020年はコロナ禍により、調査活動が激減しましたが、それ以降は、毎年、調査件数、調査距離、参加人数ともに増加しています。

調査件数の増加に伴い、飲料ペットボトルの個数も増加しています。レジ袋については、2020年の有料化以降2022年まで減少傾向がありましたが、2023年は増加となりました。行動の活性化に伴うものか、過去の散乱物が回収されたものか原因は不明ですが、レジ袋の削減対策をさらに推進する必要があると思われます。



◆調査状況 ○参加人数 のべ **7,401** 人  
○調査件数 **873** 件  
○調査範囲計（水辺の長さ） **344.14**km

(調査地別内訳)	川	海	湖沼	合計
飲料ペットボトル(本)	32,512	2,042	1,045	35,599
レジ袋(枚)	8,331	303	319	8,953
カップ型飲料容器(個)	3,519	105	184	3,808
調査件数(件)*1	694	89	90	873
調査範囲(Km)*2	293.87	11.63	38.64	344.14
参加人数(人)	6,557	141	703	7,401

- その他、まち・海中で28件、  
合計：ペットボトル54/レジ袋25/カップ型飲料容器11
- 学生による、同時期・同一地域での調査は上記に含まず、別途参考データとします。  
286件合計：ペットボトル532/レジ袋353/カップ型飲料容器170以上を含めると、1,187件の調査報告がありました。

\*1) 同じ地点でも調査時期が異なる場合は複数件としてカウント  
\*2) 川の両岸を調査した場合、片側の水辺距離の2倍で計算すると、調査した水辺の長さは412.71kmになりました。

## ◆河川管理者の調査協力

昨年に引き続き国土交通省の河川管理者も調査されました。市民と一緒に実施した河川清掃、河川管理者による調査など、28都道府県の47水系、計96地点(合計3,247人、70.43km)の報告がありました。



本調査は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて実施しました。